

聖学院大学総合研究所主催
キリスト教カウンセリング研究講演会
現代人のメンタルを救うのは誰か
～医療、経済、宗教を考える～
実施結果-アンケート集計結果の概要

今年から総合研究所（キリスト教カウンセリング研究）では、メンタルヘルスについて取り上げていきます。メンタルヘルスをめぐる危機的な状況の中、医療や企業の現場で、また教会の現場で、なにが起きているのでしょうか。記念すべき第1回講演では、精神科医として幅広く活躍されている香山リカ先生にお話いただきます。

日時 2017年2月17日（金）18：30～20：30

場所 日本印刷会館

【プログラム】

開会挨拶・司会

藤掛 明

（臨床心理士、聖学院大学総合研究所カウンセリング研究 研究代表 聖学院大学大学院准教授、同大学人間福祉学部こども心理学科准教授）

講演

香山リカ

（精神科医・立教大学現代心理学部映像身体学科教授）

質疑応答

閉会挨拶

阿久戸光晴

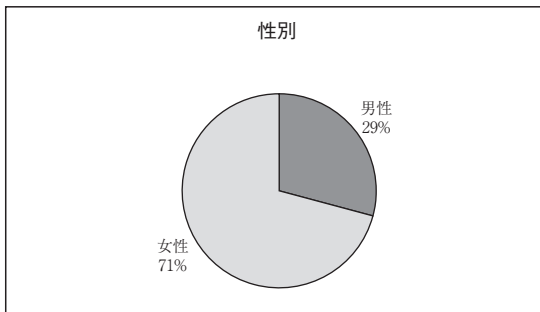
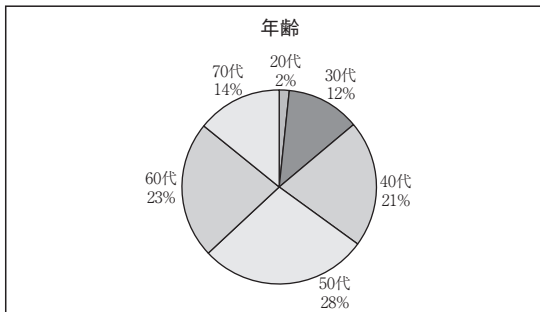
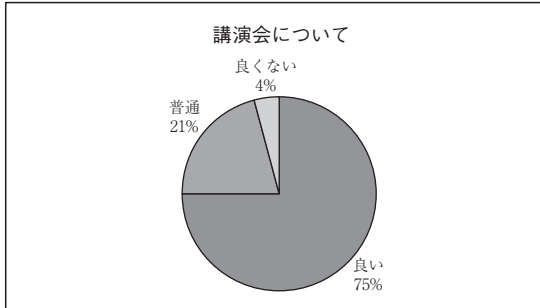
（学校法人聖学院理事長・院長）

【結果の概要】

- ・参加者は88名。内、アンケート回答者は57名。
- ・回答者のプロフィールとして、年齢は「50代」が最も多く28%。性別は女性が7割だった。
- ・講演について、「良い」という意見が75%と高い

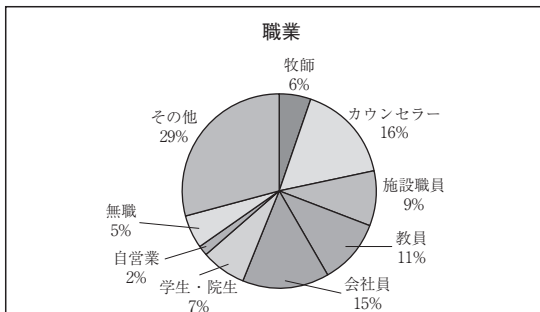
評価だった。

- ・「自由意見」として、「大変参考になった」「現代社会の抱える課題に対して深く考えさせて頂ける機会となった」「香山先生の話に引き込まれた」など。



* 回答者のプロフィールとして、年齢は「50代」が最も多く28%、次に「60代」23%、「40代」21%。

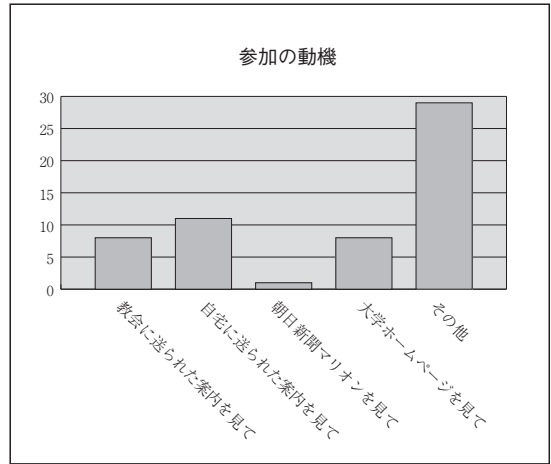
性別は、約7割が女性だった。



* 職業別では、「カウンセラー」が最も多く16%、「会

社員」15%、「教員」11%となった。

「その他」の内容は、「学校職員」「介護士」「会計事務所」「音楽療法士」など。



* 参加の動機として、「自宅に送られた案内を見て」が最も多く、次いで「教会に送られた案内を見て」「大学ホームページを見て」となった。「その他」の内容として、「友人の紹介」「先生のフェイスブックを見て」など。

今後聞いてみたい講演やご希望

- ・精神の病について、具体的に話してくれる方をお願いしたい。又、その対処法について教えてほしい（具体的に）。
- ・工藤信夫先生の講演。
- ・生涯学習、関連講演ならすべてウエルカム。大宮のサテライト講演などベターです。
- ・少年法についてとか、少年の凶悪な犯罪についてその被害者や加害者のメンタルの問題について、精神科医の立場からのお話を聞きたい。
- ・キリスト教カウンセリング研究講演会という名前に相応しい講演を期待しています。
- ・キリスト教とカウンセリングの関係。
- ・「死」「グリーフケア」など。死にどのように向き合うのか。心理療法の紹介。
- ・現代人のメンタルに届く言葉。現代人のメンタルの闇。現代人のメンタルが求める希望。
- ・いやしと救いについてそのターニングポイントの研究と事例について。
- ・もう少しメンタルヘルス、メンタルケアに対する深い内容を聞きたいです。キュアではなくケアについて…。何が私たちに出来るのかを知り

たいです。

- ・病気（難病等）を持つ親や子どもに対するメンタルケアに関する講演を希望します。
- ・小学生（3年生）から英語教育というが、それって本当に効果あるのか？鳥飼玖美子さんに話してもらいたい。
- ・あらゆる角度から、このシリーズに光をあてて下さい。色々なジャンルの先生方を起用して。
- ・心のサポート、支えが必要となってきた現代で、精神面から見た詳しい事例を含めたお話を今後伺ってみたいと思った。
- ・医療の現場からの声として聞きたい。
- ・夜の都内のこういった講演があるといいです。
- ・ぜひまた都内で開催していただきたい。

自由意見

- ・病んでる日本社会に対する示唆の得られたお話で参考になりました。
- ・悲しみを軸にしたテーマでありながら、死別・被災など以外の苦しんでいる人間の心の問題にもあてはまる内容で興味深く聞かせていただきました。全て効率化、薬、サプリ、本、マニュアル頼りの現代の問題点を改めて意識しました。
- ・今の問題に迫って下さったと思います。
- ・前回の講演に引き続き、2回目です。学ぶ楽しさを貫きます。講師に御礼。改めて考えなければならぬテーマをいただきました。
- ・今日はありがとうございます。マインドフルネス、まさに今、院で学んでいる事だったこと、又、香山先生と同じ視点で宗教をかくして、マインドフルネスという“めいそう”が行われて（紹介されて）いることに疑問をもっていたので少しスッキリ、又、違った視点でマインドフルネスを考えたいと思いました。
- ・「心のケア」とひと口に行っても、かなり難しい課題がありますね。「マインドフルネス」と現代の世相の関連に深く考えさせられた。
- ・現代社会の抱える課題に対して深く考えさせて頂ける機会となったと思います。特に精神的病で苦しんでいる人は多いのでとても参考になりました。ありがとうございました。
- ・大学までは遠方なので、なかなか伺うことが出来ず、今回の講演はとてありがたく感謝しています。今後とも多くの人たちが身近に参加できるよう、よろしく願い致します。
- ・講演の経過のところで、この講演がどこに行きつくか疑問を持ちながら聴いていましたが、人間すべての領域でひとりひとりが主体的に大切な軸を持って生きることに行きつき納得。よかったです。
- ・専門家の無力感等、興味深かった。軽妙な語り口が良かった。「人間が人間をケア」という言葉が心に残った。脱宗教化は方向性をかえると面白いのかもしれませんが（ごまかしではなく）。
- ・精神科医としてつつみかくさずありのまま率直に語って下さったことに感謝と共に共感を得ることが出来ました。先生のお働きの上に祝福がありますように。
- ・サイコロジカルファーストエイドや悲嘆から立ち直るプログラムを人間が有している（フロイト）、マインドフルネス、脱宗教化等々、今まで自分が知らなかった概念が示されつつ、日々考えるところのある問題意識とつながりがあると感じられる講演で、よい講演でした。
- ・とても興味深く、おもしろく、また学びとして有意義な時でした。でも香山先生のキャラクターにドン引きしている人もいるんだろうなあ。とても良い講演会なのになあと思いました。正直で専門家として適切な意見(教会をちょっと知っている方の意見なら尚更)とても参考になりますのに。牧師以外の話っていいですね。むりくり聖書に着地しなくてよいと思います。こちらこそありがとうございます。
- ・苦しんでいる人に自分で立ち直る力があるということがとても勉強になりました。香山先生が感じておられる「脱宗教化」の危険性については同感です。日本ではオウム的事件などの影響がどうしてもあって宗教アレルギーがありますが、逆にクリスチャンは「宗教コンプレックス」を持ってはいけないと思います。変に遠慮せず（洗礼をすすめるのかも違うと思いますが）まともな宗教として堂々としていればいいと思います。（宗教コンプレックスかな？と感じるクリスチャンも時々見かけるので）
- ・とても話の展開や内容が興味深く、また、先生

の話ぶりもライトで聴きやすかったです。“命”の選別、ランク付けに対する抵抗、“人間の尊厳”の根拠づけ、ひとりひとりの人間の価値、多様性の寛容について、どう社会に広げていけば良いのか？自分が考えなければならぬ！

- ・精神医療の難しさを感じる。精神医療の向上のために頑張りたいです。
- ・香山先生、頭の回転が速いので、ちょっと早口で聴き取りにくい部分があったのが残念。内容は興味があったのでgoodでした。
- ・今回は宗教を外枠のみ扱った形だが、キリスト教教理から精神的問題のアプローチを今回は聞いてみたいと思う。
- ・都内で夜、という企画、参加しやすくありがたいです。
- ・メディアを通して、又、本などで知っていた香山さんとは違った一面から色々なお話を聞くことができ、良かったです。非常に現在進行形の課題を取り上げていただけて興味深かったです。
- ・今日は本当に大切な講演をありがとうございました。人間に出来ることと出来ないこと、やってはいけないことなど、色々考えさせられました。寄り添うこと、祈りの大切さなど、改めて教えられました。先生のご活躍をお祈りしております。
- ・12月に夫が召天し色々な思いで過ごしております。今日のメッセージは思い当たることが多く、大変良かったです。私は祈ることでこどもの頃から今日まで救われてきたように思います。
- ・もう少し具体的に「科学や医療の限界」と「宗教」の違いの話が聞けると思った。自分はクリスチャンですが、3.11の祈りをしている僧侶の方が、すっきり受け入れられるという気持ちは共有できる。
- ・難しいと思われるテーマをわかりやすく読み解く香山先生の話に引き込まれました。
- ・最後の段階で、講師の先生の「良心」が告白され、深い模索の中へ戻されました。しかしそれは大事なことです。「あなたがしてほしいことをしてあげなさい」(マタイ福音書7章)というイエスの黄金律の本質は、各人の中に内在する聖霊の声に導かれ内なる立ち上がる力、それは「助長

される」べきであり、現代人のメンタルを救うものであることを教えられました。

- ・「現代人のメンタル」とあったので、もっと社会の中の人々のメンタルの傷についてのおはなしを聞けると思っていました。配慮のない「笑い」が多く、被災者の方々や様々な痛み、悲しみを抱えた方たちのことを思うと心が痛かったです。「ケアを必要とする人々」という見方でケアする側とされる側を分ける見方も、正直なところ「悲しみ」に寄り添う姿勢とは思いませんでした。ヒーリングやコーチングで救われてる方々もおられると思います。私たちは誰もがケアを必要としていると思います。この私も、先生もだと思えます。満たされているように見える人生も。
- ・ショック状態にある人に、経験を詳細に語らせることによって追体験させ、記憶の定着をまねく危険性があること、勉強になりました。語ってもらえると、聞く側は満足度は高いかもしれませんが、相手にとってふさわしい態度を考えたいと思いました。
- ・クリスチャン精神科医の先生が、信仰が患者の治療にどう活かされるのかを聞いたかったので残念でした。日野原先生の話と人間には手を入れてはいけない領域があるというふぶんだけがよかったです。宗教、クリスチャンと言わなければよかったですでしょうか。阿久戸先生のお話がよかったです。
- ・閉会のあいさつの言葉に胸打たれました。共感できました。
- ・閉会の挨拶をされた先生の言葉が今日一番胸に入りました。
- ・質問に答えていただき、ありがとうございました！
- ・本日は本当に勉強になりました。ありがとうございました！！
- ・ありがとうございました。
- ・講演者の書籍販売などあるとうれしく思います。